



平原康多

機が巡ってくればきっちりものにしよう。小松崎は調子上向き。一息不足の場所が続いたときもあつたが、高松宮記念杯①③②④⑨着の動きは力強かつたし、6月前橋記念①⑧①着では先行で3勝をあげている。

今年前期は落車が多かつた平原康多は、まだ本調子に戻り切っていない。優勝どころか、まだ決勝では確定板入りがなく、勝率25・6%は昨年の50・6%を大きく下回っている。不本意な成績に終わっただけに、後半戦から調子を上げていきたいところだ。連係実績がある坂井洋マークから勝機を見い出す。武藤龍生が平原に続き関東ラインを形成する。

地元地区の中部勢は山口拳矢に期待がかかる。ダービーの決勝では、単騎の不利を克服して初タイトルを手中に収めた。その後はやや動きが重く、高松宮記念杯では西一次予選2で2着失格を喫するなど流れが良くなかつたが、7月向日町は②①着。決勝は南潤の逃げを上がり10秒7の超速まくりで仕留めていて、ようやく上向いてきた感がある。持ち味の自在戦が奏功すれば首位に躍り出ても不思議ではない。



山口拳矢

開場74周年記念 金鯱賞争奪戦 出場予定選手										※2023年7月18日現在のデータです。									
級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	平原康多	埼玉	87期	114.06	S1	坂本周作	青森	105期	100.11	S2	中村浩士	千葉	79期	103.79	S2	矢野昌彦	栃木	91期	92.33
SS	新田祐大	福島	90期	116.62	S1	渡邊雄太	静岡	105期	112.71	S2	萩原孝之	静岡	80期	104.15	S2	高橋和也	愛知	91期	102.39
SS	守澤太志	秋田	96期	115.05	S1	岡本総	愛知	105期	105.11	S2	國村洋	山口	80期	93.67	S2	坂本匡洋	大阪	91期	90.26
S1	内藤宣彦	秋田	67期	110.06	S1	隅田洋介	岡山	107期	107.70	S2	立花成泰	岡山	82期	89.24	S2	木暮安由	群馬	92期	107.61
S1	桑原大志	山口	80期	110.23	S1	取島雄吾	岡山	107期	107.03	S2	友定祐己	岡山	82期	98.69	S2	山田義彦	埼玉	92期	101.68
S1	竹内智彦	宮城	84期	107.39	S1	高橋築	東京	109期	107.60	S2	山口貴嗣	福岡	82期	101.09	S2	佐藤一伸	福島	94期	106.06
S1	笠松信幸	愛知	84期	103.35	S1	門田凌	愛媛	111期	99.89	S2	大塚健一郎	大分	82期	107.10	S2	不破将登	岐阜	94期	100.68
S1	吉田敏洋	愛知	85期	107.95	S1	福永大智	大阪	113期	104.71	S2	真崎新太郎	栃木	85期	98.97	S2	鹿内翔	青森	95期	101.19
S1	岡村潤	静岡	86期	111.03	S1	嘉永泰斗	熊本	113期	116.20	S2	藤原憲征	新潟	85期	97.65	S2	渡辺正光	福島	95期	90.58
S1	湊聖二	徳島	86期	106.85	S1	坂井洋	栃木	115期	112.13	S2	加藤圭一	神奈川	85期	97.42	S2	矢口大樹	千葉	95期	91.71
S1	坂本健太郎	福岡	86期	109.12	S1	青野将大	神奈川	117期	105.63	S2	鈴木良太	静岡	86期	91.08	S2	重倉高史	富山	95期	96.47
S1	桐山敬太郎	神奈川	88期	104.26	S1	橋本優己	岐阜	117期	105.16	S2	山田和巧	神奈川	87期	86.14	S2	竹村勇祐	秋田	96期	102.94
S1	山中貴雄	高知	90期	105.32	S1	山口拳矢	岐阜	117期	113.22	S2	阿久津修	栃木	88期	91.14	S2	飯田憲司	静岡	96期	93.83
S1	小岩大介	大分	90期	108.00	S1	伊藤旭	熊本	117期	108.03	S2	松永将	茨城	89期	93.70	S2	箱田優樹	青森	98期	99.44
S1	鈴木庸之	新潟	92期	102.48	S2	中澤央治	大阪	59期	91.10	S2	石塚孝幸	神奈川	89期	100.60	S2	三浦雄大	宮城	98期	95.75
S1	椎木尾拓哉	和歌山	93期	107.80	S2	山口富士	岐阜	68期	104.68	S2	橋本勝弘	愛媛	89期	93.12	S2	志村龍己	山梨	98期	102.89
S1	佐藤和也	青森	95期	107.59	S2	伊藤健詞	石川	68期	95.42	S2	廣川泰昭	愛媛	90期	94.44	S2	角令央奈	福岡	98期	92.62
S1	中本匠栄	熊本	97期	110.43	S2	藤原誠	岐阜	69期	92.52	S2	松岡貴久	熊本	90期	103.84	S2	東矢昇太	熊本	98期	99.14
S1	武藤龍生	埼玉	98期	109.64	S2	水谷良和	愛知	70期	95.40	S2	竹山陵太	宮城	91期	101.56	S2	坂本修一	岡山	99期	94.85
S1	小松崎大地	福島	99期	110.72	S2	佐藤康紀	青森	73期	100.71	S2	小野大介	福島	91期	97.73	S2	太刀川一成	千葉	100期	91.69
S1	岡田泰地	栃木	100期	104.53	S2	山内卓也	愛知	77期	98.75	S2	金澤竜二	福島	91期	91.17	S2	宗崎世連	高知	100期	108.00
S1	三谷竜生	奈良	101期	111.45	S2	小林大介	群馬	79期	103.25	S2	山下渡	茨城	91期	107.45	S2	一戸康宏	埼玉	101期	106.25

高橋 築 (東京/109期)

G3参戦は少ないが、1月立川記念は予選を1②着で準決進出、6月大垣記念では1⑤①①着と3勝するなど好走が目立つ。何でもありの自在戦から目が離せない。



山田 雄大 (埼玉/117期)

6月和歌山1①②着。志田龍の上がり10秒9の超速まくりに屈してS級初Vは逃がしたものの、先行して粘り抜いた脚勢は悪くなかった。格上相手でも軽視できない。



南 潤 (和歌山/111期)

好調時の力強さが甦り、今年の連対率は6割に迫る勢い。直近4カ月の連がらみの決まり手は約8割が逃げてのもの。果敢な先行勝負で上位進出が期待できる。



地元地区推奨選手

俺の出番だ!!



吉田 敏洋

(愛知/85期)

16年のダービーで準Vなど、ビッグレースでも実績を残している地元の重鎮。当所記念は62、68周年大会を制している。22年1月豊橋以来のG3優参に闘志を燃やす。

藤井 侑吾

(愛知/115期)

地元勢では数少ない先行型。6月大垣記念は一般戦、選抜戦ながら2勝すると、同月函館は1⑥②着とまずまずの近況だ。師匠（水谷良和）との参戦なら気合も倍增。



車券の購入は20歳になってから。
競輪は適度に楽しみましょう。
競輪とオートレースの売上の一部は、
機械工業の振興や社会福祉等に
役立てられています。



金鯪賞争奪戦 出場予定選手

※2023年7月18日時点

[illegible]